

三菱 エコキュート 施工不具合事例集

【本資料の目的】特に不具合の多い施工事例に絞り、実際の事例と注意ポイントを記載しております。
エコキュート施工時に、据付工事説明書と併せてご活用ください。

1. 配管施工時 P.3～P.6
【掲載事例】配管接続部から水漏れ、U29エラー、茶色いお湯が出てくる、貯湯ユニット下の地面が濡れている
2. 空気チューブ施工時(Pシリーズのみ) P.8
【掲載事例】ホットあわーの泡が出続ける、ホットあわーの泡が出ない
3. ヒートポンプユニットドレンソケット・ドレンホース施工時 P.9～P.10
【掲載事例】ヒートポンプユニット下の地面が濡れている、ドレン水を排水できない
4. 貯湯ユニットへの配線工事時 P.11～P.13
【掲載事例】H01エラー、漏電遮断器が焦げている、漏電遮断器が落ちる、H10エラー
5. リモコン工事(貯湯ユニットへの接続工事)時 P.14
【掲載事例】リモコンが見つからない
6. 湯水混合栓 P.15～P.16
【掲載事例】給湯温度が安定しない、湯がぬるい、給湯時に音がする
7. 不使用時の対応 P.17
【掲載事例】給水したら水漏れする、貯湯ユニット内部の部品から水漏れする

1. 配管施工時

事例①

配管接続部から水漏れ

不具合事象

配管接続部から水漏れしている。

処置内容

配管口のねじ山が破損しており、破損部から水漏れしていたため、配管口の部品を交換した。

Point① 配管の水漏れ確認

- ・配管接続部は樹脂ねじです。樹脂ねじ部を破損させないように【15～20N・m】で締めてください。

事例②

U29エラー

不具合事象

ふろ戻り配管と浴槽アダプターの接続が緩く、空気が混入してふろ循環運転ができない。

処置内容

ふろ戻り配管を締め直して対応。
その後、試運転湯はりを実施し症状改善を確認した。

Point② 配管の締め込み確認

- ・配管接続時は、【15～20N・m】で締めてください。
- ・配管施工後は試運転湯はりを実施して、循環不良や水漏れが起きないことを確認してください。

本項目で発生する可能性がある事象

- **給水配管/給湯配管**
地面・床が濡れる、未使用時に水道メーターが回る、湯が出ない...など
- **ふろ配管**
地面・床が濡れる、ふろ循環できない、U03/U29エラーが出る...など

1. 配管施工時

事例③

U29エラー

不具合事象

埋設の既設配管を使用していたが、埋設部がつぶれており循環不良。

処置内容

依頼元様に状況説明し完了。その後、施工業者様にて配管手直しを行い、症状改善を確認した。

Point③ 各配管のつぶれや折れの確認

- ・各配管はつぶれや折れのないように施工してください。
- ・配管施工後は試運転湯はりを実施して、水漏れや循環不良が起きていないことを確認してください。



本項目で発生する可能性がある事象
ふる循環運転ができない
U03/U29エラーが出る、
ホットあわの泡が出ない...など

1. 配管施工時

事例④

U29エラー

不具合事象

他社製浴槽アダプター使用による循環不良。

処置内容

依頼元様に状況説明し完了。その後、施工業者様にて浴槽アダプターを交換し、症状改善を確認した。

Point④ 対象浴槽アダプターの確認

・形名によって対象となる浴槽アダプターが異なりますので、対象形名をご確認ください。

対象形名：Pシリーズ
 ホットあわー用浴槽アダプター
 ストレート型：GT-H761
 L字型：GT-H791



図. ホットあわー用浴槽アダプター(GT-H761)

対象形名：S/B/Wシリーズ
 フルオート用浴槽アダプター
 ストレート型：GT-F761
 L字型：GT-F791



図. フルオート用浴槽アダプター(GT-F761)

本項目で発生する可能性がある事象

・ふる循環運転ができない ・U03/U29エラーが出る ・ホットあわーの泡が出ない
 ...など

1. 配管施工時

事例⑤	茶色いお湯が出てくる
不具合事象	配管施工時に混入していた砂・土が、湯はり時に茶色いお湯となって出てくる。
処置内容	ふろ配管内を洗浄し、タンク内のお湯を入れ替えた。

Point⑤-1 配管施工時の異物混入防止

- ・配管内に異物(石等)が入らないようにしてください。
- ・日をまたぐ工事の場合は、配管接続部の養生をしてください。
- ・異物が入った場合は、必ず洗い流すなどの処理を実施してください。
- ・給水時、必ず給水ストレーナと給水配管専用止水栓内部の小石や異物を取り除いてください。



Point⑤-2 ふろ配管の洗浄

- ・洗浄剤は、別売の配管洗浄剤(BJ-070L)をご使用ください。
- ・市販の洗浄剤を使用する場合は「ジョンソン株式会社製ジャバ(1つ穴用)」に限ります。
- ・ジャバを使用する場合も、取扱説明書に記載の手順で循環洗浄してください。
- ・安全に関するご注意などは、ジャバに付属の説明書をお読みください。

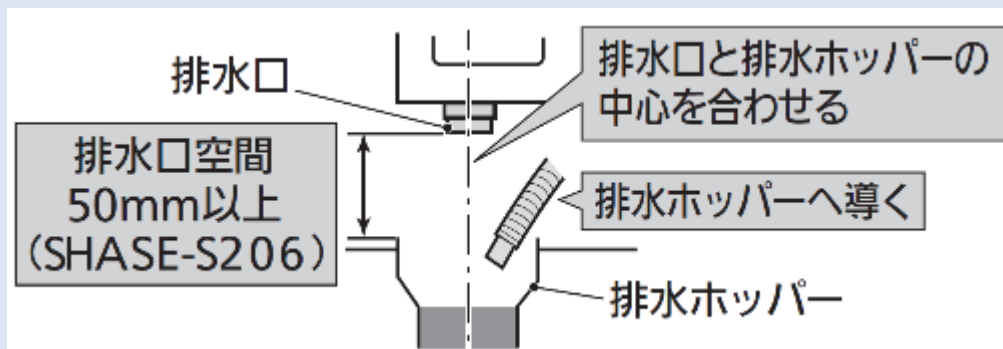
本項目で発生する可能性がある事象
 異物が出てくる...など

1. 配管施工時

事例⑥	貯湯ユニット下の地面が濡れている
不具合事象	わき上げ中、体積が増えた分のお湯を少しずつ排水する際に、地面にそのまま排水。
処置内容	排水ホッパーと排水口がずれていたため、 <u>配管により排水ホッパーと排水口を最小距離で合わせて完了。</u>

Point⑥ 排水口と排水ホッパーの位置を確認

- ・排水口と排水ホッパーの中心位置を確実に合わせてください。
 - ・中心位置がずれている場合は、配管により最小距離で中心を合わせてください。
- ※フレキ管で導く場合は、長さ2m2曲がり以内で、必ず下り勾配としてください。



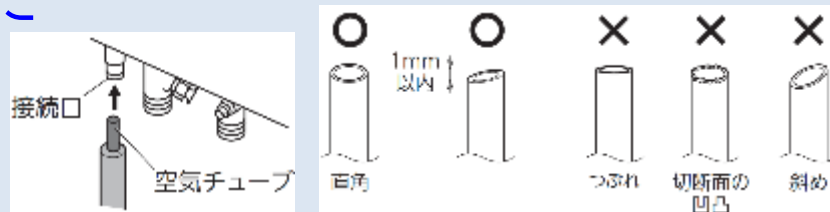
本項目で発生する可能性がある事象
常に水が漏れる...など

2. 空気チューブ施工時 Pシリーズ

事例⑦	ホットあわーの泡が出続ける
不具合事象	空気チューブの隙間から空気が吸い込まれることにより、ホットあわー以外のふろ循環運転中に気泡が発生。
処置内容	空気チューブの切断面が斜めになっていたため、 先端を切断面が直角になるように切断し、奥にあたるまで挿入した。

Point① 奥まで差し込む、切断面が直角になるように加工する

- ・切断面は直角としてください。
- ・奥にあたるまで十分に差し込んでください。



事例②	ホットあわーの泡が出ない
不具合事象	気泡が出ない
処置内容	空気チューブがつぶれ(折れ)ており、空気が送り出せなかったため、 つぶれ(折れ)を解消した。

Point② 各配管のつぶれや折れの確認、異物混入防止

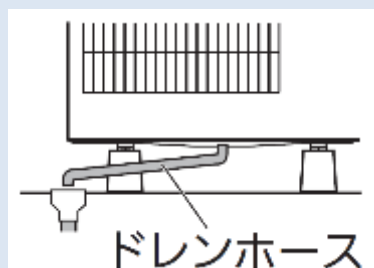
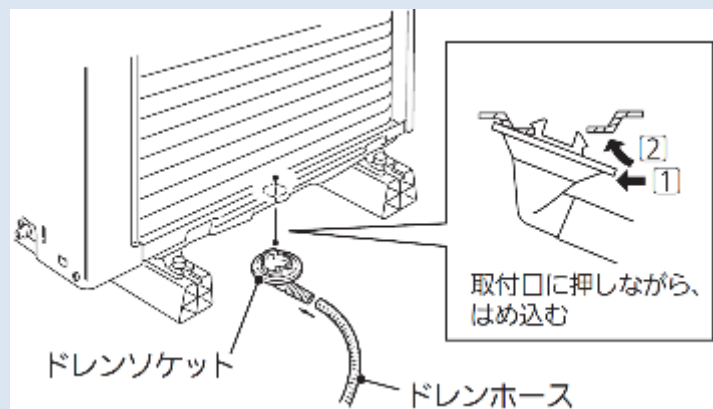
本項目で発生する可能性がある事象
 空気チューブへの水の逆流により空気が出ない...など

3. ヒートポンプユニット ドレンソケット・ドレンホース施工時

事例⑧	ヒートポンプユニット下の地面が濡れている
不具合事象	ドレンソケット取付部から水漏れが発生。
処置内容	ドレンホースの下り勾配が設けられておらず、ドレン水が流れていなかったため、ドレンホースの長さを調整し、 <u>下り勾配を設けた</u> 。

Point① ドレンソケットの取付、ドレンホースの施工

- ・ドレンソケットは同梱部品を使用して確実に取り付けてください。
- ・ドレンホースは水がたまらないように、たるみのない下り勾配を設けてください。



本項目で発生する可能性がある事象
地面が濡れている...など

3. ヒートポンプユニット ドレンソケット・ドレンホース施工時

事例②	ヒートポンプユニット下の地面が濡れている
不具合事象	ドレンソケット取付部から水漏れが発生。
処置内容	ドレンホースの先に異物が堆積し、水の出口を塞がれたことにより、ドレンソケット取付部から水が漏れたため、 異物を取り除いた 。

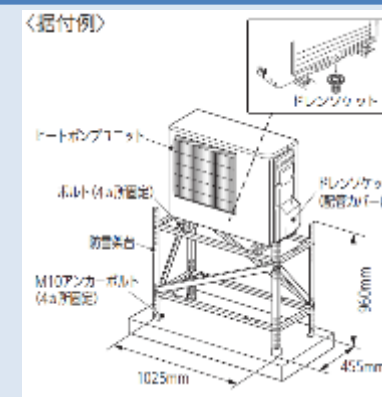
Point② ドレンホース先端部の処置

- ・異物で先端部を閉塞する懸念のない箇所にドレンホースを這いまわしてください。

事例③	ドレン水を排水できない
不具合事象	積雪によりドレンソケット・ドレンホースが埋まっている。
処置内容	防雪架台を設置 し、ドレン水を排水できるように処置した。

Point③ 寒冷地向け機種種の防雪架台施工

- ・寒冷地向けは、必ず防雪架台を使用し、水平に設置してください。
- ・ドレン水を排水できる場所に基礎工事をしてください。
- ・ヒートポンプユニットのドレン口にドレンソケットを取り付けてください。



4. 貯湯ユニットへの配線工事時

事例①	H01エラー
不具合事象	リモコンにH01エラーが表示されて動作しない。
処置内容	電源電圧に交流 (AC) 100Vが接続されていたため、 電源電圧に交流 (AC) 200Vを接続する ように施工業者様に説明し完了した。

Point① 電源電圧は“交流 (AC) 200V”

本項目で発生可能性のある事象
 リモコン配線不良エラー表示、タンクの電源電圧エラー表示、
 H10エラー表示...など

事例②	漏電遮断器が焦げている
不具合事象	ねじ締め不足による接触不良で、通電時に異常発熱し発火。
処置内容	漏電遮断器および周辺部品を交換し、 締付基準トルクで締め付けた 。

Point② 使用工具・ねじ締めトルク・部材確認

- ・インパクトドライバーなどは使用せず、必ず締付基準トルク (1.5~2.0N・m) で締め付けてください。
 - ・漏電遮断器に付属の圧着端子を使用してください。
 - ・ねじ締め完了後、ケーブルを動かして緩みがないことを確認してください。
- ※正常に締結した状態でも僅かに動きます。



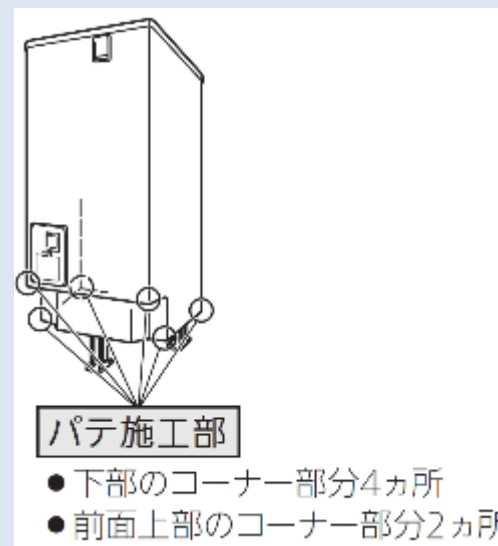
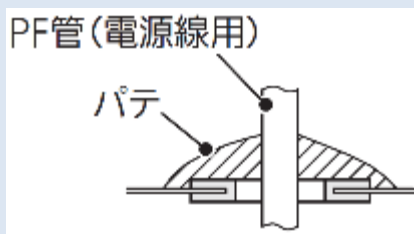
本項目で発生する可能性がある事象
 ねじが空転する...など

4. 貯湯ユニットへの配線工事時

事例③	漏電遮断器が落ちる
不具合事象	電源線を伝って虫が漏電遮断器もしくは基板まで侵入し、ショートしたことにより、漏電遮断器が落ちる。
処置内容	ショートした部品を交換し、 <u>電源線周り・貯湯ユニットのコーナー部分をパテで埋めた。</u>

Point③ 電源ケーブル口・コーナー部分をパテ埋め

- ・小動物(ヤモリなど)や虫の侵入を防ぐため、貯湯ユニットの電源ケーブル口とコーナー部分をパテで必ずふさいでください。



本項目で発生する可能性がある事象
何度も電源が切れる...など

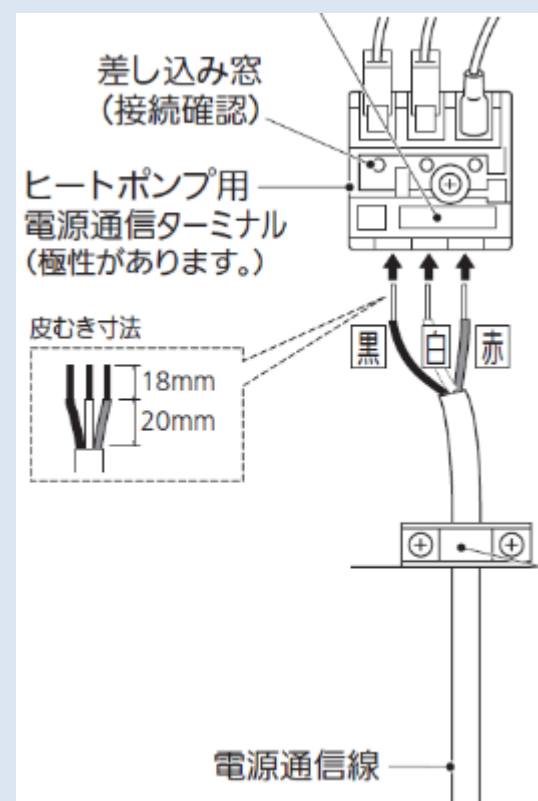
4. 貯湯ユニットへの配線工事時

事例④	H10エラー
不具合事象	ヒートポンプ用電源通信ターミナルへの電源通信線の差し込みが不十分。
処置内容	差し込みが不十分であったため、 <u>ヒートポンプ用電源通信ターミナルの差し込み窓から線が見えるまで差し込み</u> 、改善した。

Point④ 電源通信線の差し込み

- ・極性がありますので必ず合わせてください。
- ・図の寸法にしたがって皮をむいてください。
- ・ターミナルの差し込み窓から線が見えるまで確実に差し込んでください。
その後、電線を1本ずつ引っぱり、抜けないことを確認してください。

本項目で発生する可能性がある事象
 わき上げ出来ない...など



5. リモコン工事(貯湯ユニットへの接続工事)時

事例①	リモコンがつかない
不具合事象	リモコン線の断線。
処置内容	リモコン・リモコン線を確認したところ、 <u>リモコン線が断線していたため、リモコン線の入れ替え</u> を行った。

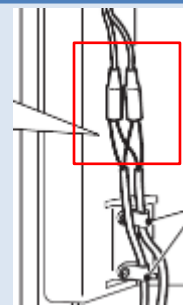
Point① リモコン線の確認

- ・リモコン線の断線、短絡等が無いことをテスターで確認してください。
- ※200V電源ブレーカーの電源レバーを「入」にする前に実施してください。

事例②	リモコンがつかない
不具合事象	リモコン線の圧着不良。
処置内容	リモコン・リモコン線を確認したところ、 <u>リモコン線がリモコン接続端子から抜けていたため、リモコン線の圧着</u> を行った。

Point② リモコン線の圧着部の確認

- ・リモコン線の圧着(接続)時は、当社指定の圧着工具(株式会社ニチフ製 NH11 相当)を使用してください。また、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。



本項目で発生する可能性がある事象
 リモコンが点滅する、液晶画面が表示しない、再起動する...など

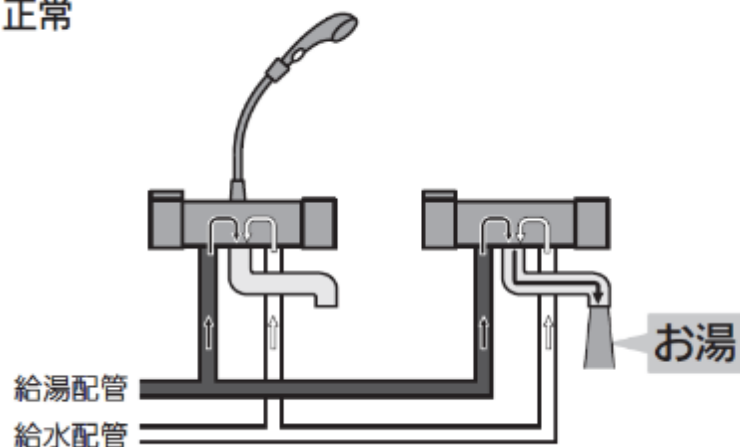
6. 湯水混合栓

事例①	給湯温度が安定しない
不具合事象	湯水混合栓の故障により水側の配管から湯側の配管に水が逆流して、正常な湯水混合栓の温度が下がる
処置内容	湯水混合栓の逆止弁が故障していたため、 施工業者様で湯水混合栓を修繕した。

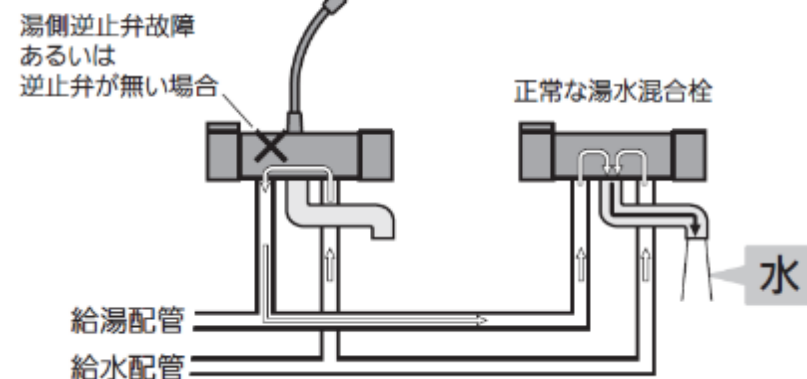
Point① 湯水混合栓の逆止弁確認

- ・逆止弁付きの湯水混合栓を使用しているか、故障していないか確認してください。

正常



異常

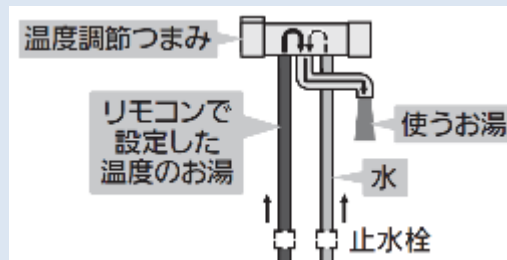
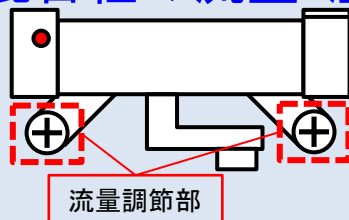


本項目で発生する可能性がある事象
 湯温が下がる、湯はり温度が下がる、
 わき上げ中以外に逃し弁より排水される...など

6. 湯水混合栓

事例②	湯がぬるい
不具合事象	特定の水栓で湯がぬるい。
処置内容	湯水混合栓の温度調節・流量調節が適切でなかったため、 温度調節・流量調節を行った。

Point② 湯水混合栓の流量・温度を調節する



事例③	給湯時に音ができる
不具合事象	シングルレバー式の湯水混合栓で湯側レバー操作時にドンという音ができる。
処置内容	水撃(ウォーターハンマー)現象による音を確認し、 施工業者様で水撃防止装置を取り付けた。

Point③ 水撃防止装置などの取り付けを検討する

- ・湯水混合栓の種類※によっては、水撃(ウォーターハンマー)現象がおこることがあります。水撃防止装置取付などの処置をお願いします。
- ※シングルレバー式の湯水混合栓や手元ストップシャワー

7. 不使用時の対応

事例①	給水したら水漏れする
不具合事象	貯湯ユニット内の部品やヒートポンプユニット内の部品が凍結により多数破損して水漏れする。
処置内容	<u>満水状態で電源を入れずに外気温が0℃未満の環境になった</u> ことにより、凍結による膨張で部品が多数破損していたため部品を交換した。

Point① 施工後すぐに使用しない場合は、外気温に応じて水を抜く

●外気温が0℃以上の場合

取扱説明書の手順にしたがって貯湯ユニットとヒートポンプユニット、配管内の水を抜いてください。

●外気温が0℃未満の場合

タンクの水は抜かずに、電源を入れたままにしておいてください。

厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。

事例②	貯湯ユニット内部の部品から水漏れする
不具合事象	貯湯ユニット内の一部の部品が凍結により破損し通水時に水漏れする。
処置内容	排水栓は開いて水抜きしたが <u>水抜き栓を開き忘れ外気温が0℃未満の環境になった</u> ことにより、部品が一部破損していたため部品を交換した。

Point② 据付工事説明書の手順にしたがって水抜きする

本項目で発生する可能性がある事象
貯湯ユニット内の部品が破損している、
地面が濡れている...など